

## 「九州ウェブサイト大賞2007」表彰サイト

### 1 最優秀賞（1件）

| サイト名   | 実績等  |
|--|--|
| <p>「ブログふくおかよかよか」<br/> <a href="http://yoka-yoka.jp">http://yoka-yoka.jp</a><br/>           (ジェイエムテクノロジー株式会社)</p> | <p>地域活性化を目的に福岡に特化した情報を発信する地域ブログポータルサイト。</p> <p>幅広いジャンルの豊富な情報を適切なカテゴリに分類してデザインもすっきりしており情報の質も高いこと、SNSを含めた地域ポータルサイトとして機能していること、ブログを活用してインターネットの双方向性、即時性などが十分に生かされていること、一日あたりのアクセス数が多いことが高く評価された。</p> <p>インターネットの持つ双方向性、即時性などを十分に生かし、福岡のランドマーク情報、福岡の社長ブログ、プレスリリースほか幅広いジャンルの豊富な情報をカテゴリ毎に分類し、分かりやすく提供するとともに、福岡の情報に特化することでバーチャルではなくリアルなコミュニケーションに結びつけることが可能となっている。また地域の起業家からの情報発信も多くビジネス面でも活用されている。</p> <p>SNSを含めた地域ポータルサイトとして地域に密着した情報発信や人的交流の促進により地域の活性化に貢献している。</p> <p>総ページビュー：約42,000～50,000PV（一日当たり）<br/>           訪問者数：約8,016人（一日当たり）<br/>           ブログの投稿記事数：約3,600記事（一月当たり）</p> |

### 2 優秀賞（5件）

| サイト名  | 実績等  |
|---|--|
| <p><small>みずまきまち</small><br/>           「水巻町ウェブサイト」<br/> <a href="http://www.town.mizumaki.fukuoka.jp/">http://www.town.mizumaki.fukuoka.jp/</a><br/> <small>みずまきまち</small><br/>           (福岡県水巻町役場)</p> | <p>福岡県水巻町の行政情報等を提供するサイト。</p> <p>色や画像に頼りすぎずにコンテンツの分類と配置が上手く統一感のあるデザインに取り組み、ウェブアクセシビリティにもよく配慮されていること、動画コンテンツの他GISやグーグルアースとの機能をシームレスに融合させるといった地方公共団体としては先進的な取り組みが高く評価された。</p> <p>コンテンツの分類や配置等、デザイン性・操作性も優れている。</p> <p>町民から問い合わせの多い国民健康保険や住民税については、トップページにコーナーを設け、計算方法などが町民に分かりやすく説明されている等、利用者となる住民の利便性にも配慮されている。</p> <p>また、申請書等のダウンロード後のPDF文章に直接書き込み、印刷が出来るよう工夫するなど、住民への行政サービスの向上に貢献している。</p> <p>訪問者数：約24,815人（一月当たり）</p> |

| サイト名   | 実績等  |
|--|--|
| <p>「「ながさき」を歩こう 長崎さるく」<br/> <a href="http://www.saruku.info/index.html">http://www.saruku.info/index.html</a><br/>           ( 社団法人長崎国際観光コンベンション協会 )</p>            | <p>観光客や修学旅行生等を対象に、長崎の魅力をたっぷり味わってもらうことを目的とした観光情報サイト。<br/>           「歩いて観光する」という視点を大切にして集められた情報が豊富で検索しやすいこと、実際に歩くイメージが分かるような動画配信を行っていること、利用したいコースをサイトから予約できる取り組みが高く評価された。<br/>           以前開催された「日本ではじめてのまち歩き博覧会長崎さるく06」の取り組みを観光客や住民の要望に応じて再スタートしたもので、長崎の町を歩いて観光するために必要な情報を充実させており、検索方法にも工夫がされている。コンテンツが豊富で、参加したいコースの予約ができるなど使い勝手を良くする工夫がされている。<br/>           観光を通じた地域経済活性化や街全体の産業振興に貢献している。<br/>           総ページビュー：約43,000PV（一月当たり）</p>                                 |
| <p>「熊本<sup>こくふ</sup>国府高等学校」<br/> <a href="http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/">http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/</a><br/>           ( 熊本<sup>こくふ</sup>国府高等学校 )</p> | <p>熊本国府高等学校パソコン同好会が制作している学校紹介サイト。<br/>           学校の紹介に止まらず、「熊本の隠れた情報を掘り起こし、全国に紹介しよう」と、創意工夫あふれる個性的なコンテンツで様々な熊本の自然や文化を次々と発信している取り組みが高く評価された。<br/>           中でも「肥後の石橋」は小学生から専門家の方まで、本サイト一番のアクセスがあるページとなっている。また、年間を通じてアクセスが多いのが「金魚の飼育」で、その道に詳しい先生のアドバイスの掲載や質問にも対応している。<br/>           漱石や鴎外など熊本に関係ある文学者を紹介する「熊本文学散歩」での小泉八雲の「極東の将来」は、原文の英文、日本語、韓国語、中国語により閲覧が可能となっており、八雲研究の資料としてばかりか、英語や近隣諸国語及び国際理解の教材にも役立つ等、熊本県の自然や文化の情報発信に貢献している。<br/>           訪問者数：約170,000人（一月当たり）</p> |
| <p>「バリアフリー情報マップ みやざき」<br/> <a href="http://m-bfree.pref.miyazaki.lg.jp/">http://m-bfree.pref.miyazaki.lg.jp/</a><br/>           ( 宮崎県障害福祉課 )</p>                   | <p>障がい者や高齢者などにバリアフリー情報を提供するサイト。<br/>           障がい者や高齢者などが外出する際の安全・安心のため、バリアフリー情報を掲載した「みやざきバリアフリー情報マップ」を公開する等、ウェブアクセシビリティやユニバーサルデザインに立脚した企画とその機能を有するウェブサイトとして高く評価された。<br/>           県内1600程度の施設のバリアフリー情報を掲載した「みやざきバリアフリー情報マップ」を公開し、障がい者用トイレの地図情報が外出先でも確認できるよう、携帯電話対応など様々な工夫を凝らしている。<br/>           また、福祉のまちづくりを知ってもらう工夫として、キッズコーナー（動画版、静止画版を用意。）を設けており、県内外の小学校で同ホームページを活用した授業がなされるなど、人にやさしい福祉のまちづくりの推進に貢献している。<br/>           総ページビュー：約864,750PV（一月当たり）</p>             |

| サイト名   | 実績等  |
|--|--|
| <p>「<sup>さ た みさき</sup>佐多岬ウォーター<br/>ジュニア」<br/><a href="http://blog.canpan.info/odmari-es/">http://blog.canpan.info/odmari-es/</a><br/>(<sup>おおどまり</sup>南大隅町立大泊小<br/>学校)</p> | <p>九州最南端の大迫小学校の児童達が総合的な学習の時間に取り組んでいる「水に賢い子どもを育む年間活動型プログラム」の活動の様子を紹介しているサイト。</p> <p>過疎地にある学校にも関わらず、管理者を始めとして学校全体で創意工夫をしながら情報発信に取り組む姿勢と素朴な情報であっても情報更新頻度を高くして新鮮さを保っていることが高く評価された。</p> <p>過疎地の小学校の特色を生かし、全児童が子供記者としてブログ作成に携わりっており、更新頻度も高く、内容も見やすく工夫されている。コンテンツの内容はほのぼのとした雰囲気が伝わってくるもので、南大隅町のファン作りにも役立っており、地域経済の活性化や地域住民の情報リテラシー向上に貢献している。</p> <p>総ページビュー：約5,200 P V（一月当たり）</p> |

### 3 入賞（8件）

| サイト名  | 実績等   |
|---|---|
| <p>「九州釣り情報」<br/><a href="http://www.q.turi.ne.jp/">http://www.q.turi.ne.jp/</a><br/>(株式会社ルミカ)</p>             | <p>釣果情報を無料で提供することにより釣り業界の活性化を図ることを目的としたサイト。</p> <p>釣り情報に特化して情報をきめ細かく集め、かつ、レイアウトにも配慮して見やすく整理されているところ、商業目的に留まらず釣り愛好家に有益な情報提供手段として活用されているところが高く評価された。</p> <p>釣り場情報の提供等、各地の釣具店や瀬渡し業者の集客に貢献するとともに、初心者からベテランまでの釣り愛好家に対応したきめ細かな釣り関連の情報提供のコンテンツ（釣りのテクニック情報、大物釣り自慢、おすすめ魚料理等）が充実しているだけでなく、地域のおでかけ情報やドライブ情報等も豊富。</p> <p>また、サイトを運営していない小規模な釣具店や瀬渡し業者等の周知・広報の役割も果たしており、釣りファンの増加に寄与するとともに、地域経済の活性化に貢献している。</p> <p>総ページビュー：約1,400,000 P V（一月当たり）</p>     |
| <p>「ラーメン九州ドットコム」<br/><a href="http://www.ramenkyushu.com/">http://www.ramenkyushu.com/</a><br/>(株式会社福岡放送)</p> | <p>ラーメンに関する個人の主観情報をICTを駆使して客観情報に変換し紹介・提供するウェブサイト。</p> <p>ラーメンに特化した着眼点が面白く独創的で、利用者からの情報を収集、編集、配信するシステムに工夫が見られることが高く評価された。</p> <p>九州内の155軒のラーメン店を掲載しユーザーが実際に食べたことのあるラーメン店の商品を5段階評価できるようにし、その評価の平均値をチャートにてリアルタイムで表示するシステムを提供。これにより、ユーザー個人の主観的情報を客観的情報に変換して掲載しており、グルメサイトとしては独創性と先進性がある。</p> <p>現在は、「九州ラーメンのポータルサイト」として観光客やラーメンに興味を持つ全国のユーザーに対して、「ラーメン・アイランド九州」のガイドブック的役割を果たしており、地域の食文化の宣伝と振興に貢献している。</p> <p>総ページビュー：約197,000 P V以上（一月当たり）</p> |

| サイト名   | 実績等   |
|--|---|
| <p>「あそぼーさが」<br/> <a href="http://www.asobo-saga.jp/">http://www.asobo-saga.jp/</a><br/>           ( 社団法人佐賀県観光<br/>           連盟 )</p>          | <p>佐賀県内の観光情報を紹介するポータルサイト。<br/>           日本語を始め5ヶ国語の表示に取り組んでいるほか、情報の更新が頻繁で、「新しさ」や「読みやすさ」を意識したサイト運営に努力しているところが高く評価された。<br/>           佐賀県内の観光地や景勝地の写真の掲載やブログを活用する等、利用者に観光地のイメージが湧きやすい工夫をしている。また、観光施設等の連絡先を網羅的に掲載する等、利用者の利便性についても配慮されており、観光産業を中心とした地域経済浮揚と活性化に貢献している。<br/>           訪問者数：約42,839人(一月当たり)</p>   |
| <p>「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ公式ウェブサイト」<br/> <a href="http://www.sibf.jp/">http://www.sibf.jp/</a><br/>           ( 佐賀バルーンフェスタ組織委員会 )</p>             | <p>佐賀市郊外で開催されるスカイスポーツイベント「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」の情報サイト。<br/>           大規模なイベント紹介に特化したポータルサイトで、取り組み自体が面白く目的も明確である。地域性が色濃く出ているほか、コンテンツも充実しておりビデオクリップも豊富で見やすいように工夫されており配色や写真の配置のバランス、レイアウトが優れている点が評価された。<br/>           大会期間中80～100万人の観客を迎える熱気球競技大会について、様々な情報を来場者に提供し、利便性の向上と来客の増加を図るために企画運営されている。また、大規模郊外型のイベント開催に不可欠な、駐車場や道路の混雑状況といった交通アクセスに関して詳細で正確な情報の提供にも活用され、来場者への利便性の向上に寄与している。<br/>           当該地域の代表的な観光資源であるバルーン(熱気球)は、ビジュアルインパクトとして多くのブログに掲載されており人気も高い。個人ブログの開設者がこれを契機として、コミュニティを形成しファン層の拡大と来訪者の増加に繋がるなど地域の活性化にも貢献している。<br/>           総ページビュー：915,304PV(2006年11月・大会期間中実績)</p> |
| <p>「おおいタリアンプラス」<br/> <a href="http://www.oitarian.jp/">http://www.oitarian.jp/</a><br/> <small>さいきいんさつ</small><br/>           ( 佐伯印刷株式会社 )</p> | <p>地元印刷が制作した大分県下各地の観光パンフレットや各市町村の要覧・情報誌などの情報を素に作成されたポータルサイト。<br/>           印刷物のレイアウトの仕方を上手く取り入れた統一感があるマガジン風のデザインで、読みやすさとサイト内の情報の検索のしやすさを高めて利用者の利便性を高める工夫をしているところが高く評価された。<br/>           地域情報を独自の視点で選別・取材・編集し、ガイドブックには載らない情報も紹介されており、大分在住者はもとより、県外で暮らす同郷の人々への情報提供にも役立っている。<br/>           また、地域活性化に取り組むグループや個人、会社にスポットを当て紹介することで、隠れた大分の情報を発掘し全国へ情報を発信する手助けとなり、地域産業の振興に貢献している。<br/>           訪問者数：約20,000人(一月当たり)</p>  |

| サイト名   | 実績等  |
|--|--|
| <p>「パノラマ風景写真で観光する大分県」<br/> <a href="http://panorama.photo-web.cc/">http://panorama.photo-web.cc/</a><br/> <small>しが もとよし</small><br/>           (志賀 本昌 氏)</p>      | <p>大分県在住のアマチュアカメラマンが撮影したパノラマ写真等を紹介しているサイト。<br/>           個人が運営しているサイトとしては数多くの写真を使った情報発信や平面で立体画像を見られる手法を掲載の写真に取り入れる試み、グーグルアースとサイトの写真との連動を試みる等の独創性がある取り組みが高く評価された。<br/>           約6年間にわたり撮影した大分県内の風景写真約30万枚から厳選したものをサイト上に掲載し、居ながらにして大分県内の風景を堪能できるのが特徴で、パノラマ写真に加えて立体写真もあり、サイト管理者がICTを上手く活用し、実に楽しんでいる様子が伺える。<br/>           発想がユニークで独創的で地域性に富んだ写真も豊富であることから訪問者も多く、地域のPRに貢献している。<br/>           総ページビュー：約200,000PV以上(一月当たり)<br/>           訪問者数：約18,000人(一月当たり)</p> |
| <p>「宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」」<br/> <small>しゅん</small><br/> <a href="http://www.kanko-miyazaki.jp">http://www.kanko-miyazaki.jp</a><br/>           (財団法人みやざき観光コンベンション協会)</p> | <p>宮崎県全域の観光情報を提供するサイト。<br/>           新鮮な情報の提供のため日々の情報更新に努め、県内外の関係機関等にもリンクを張る等で情報の流通性を高める工夫をしているところと、その取り組みによる高い利用数が高く評価された。<br/>           県内各市町村から観光施設情報の提供を受け、写真を多数活用することにより「見やすさ」にも工夫して知りたい情報をすばやく提供できるシステムを構築し、常に新鮮情報を提供できるようにほぼ毎日更新されている。地元はもとより、県外の観光関連サイトとのリンクにより情報の流通性を高めている。<br/>           イベント・コンベンション開催情報を公開することで地域企業の観光客誘致への気運を高めて、地域産業の振興に貢献している。<br/>           総ページビュー：約132,000PV(一月当たり)</p>  |
| <p>「ゆっくり悠・遊 観光かごしま」<br/> <a href="http://www3.pref.kagoshima.jp/kankou/">http://www3.pref.kagoshima.jp/kankou/</a><br/>           (鹿児島県観光交流局観光課)</p>               | <p>鹿児島県の観光情報発信サイト。<br/>           日本語を始め5ヶ国語の表示に取り組んでいるほか、様々な切り口から情報検索を可能とする利便性と実用性を高める取り組みが高く評価された。<br/>           豊富な観光情報を「市町村ナビ」「観光スポットナビ」「おすすめコース」「観光Mapナビ」といったメニューから目的にあわせ検索することができ、利便性に優れている。また、写真や地図がうまく活用されており、分かりやすい構成となっている。<br/>           旅行会社や宿泊予約、交通機関、気象情報、食に関するサイトへのリンクが充実し、観光客が行き先や旅行日程などを決定する場合に活用しやすい情報発信が行われており、地域経済の活性化、鹿児島県の観光振興に貢献している。<br/>           トップページビュー：約43,000PV(一月当たり)</p>   |

#### 4 九州テレコム振興センター会長賞 (1件)

| サイト名   | 実績等   |
|--|---|
| <p>こうざん<br/>「向山王国」<br/><a href="http://www.kouzan-tod.com">http://www.kouzan-tod.com</a><br/>(熊本市向山校区まちづくり委員会)</p> | <p>小学校の校区まちづくり委員会が管理し、校区内の各種情報やコミュニケーションの場を提供しているサイト。<br/>校区という狭い範囲が対象で運営にはボランティアに依存するところが大きいなかで、校区に関する歴史や防犯情報等の多彩な情報発信をしているところが高く評価された。<br/>小学校の校区を1つの単位とした地域住民がコミュニティ形成と人材育成を目的として自発的にかつ奉仕の精神でサイトを企画運営されており、防犯情報をはじめ住民相互間の有益な情報交換の場としてウェブサイトのメリットを最大限に活かされており、ICT利活用の先進的取り組み事例といえる。<br/>併せて携帯電話用のサイトも立ち上げており、PTAを始めとする地域住民の情報リテラシー向上にも貢献している。<br/>訪問者数：約600人(一月当たり)</p> |

#### 5 審査委員特別賞 (2件)

| サイト名   | 実績等   |
|--|---|
| <p>さくらの<br/>「志摩町立桜野小学校ホームページ」<br/><a href="http://sakurano-e.workarea.jp/">http://sakurano-e.workarea.jp/</a><br/>(ふるかわ ちとし 氏〔桜野小学校長〕)</p> | <p>志摩町立桜野小学校の情報サイト。<br/>規模が小さく、費用も少ない中で、校長先生自らが創意工夫をしながら学校の様々な情報発信している取り組みが高く評価された。<br/>PTAからの要望を受け、校長自ら、情報収集、加工、発信等々、更新を日々続けられており、これが学校運営にも役立っている。また、学校生活に係る情報が豊富で、保護者はもとより卒業生や地域への情報提供を積極的になされている。掲示板を有効に活用して、学校とPTAとの双方向の情報交換の場として活用されている。<br/>児童や地域住民へのICTの啓発活動にもなり、地域の情報リテラシー向上に貢献している。<br/>訪問者数：約60人(一日当たり)</p> |
| <p>「長崎ガイド」<br/><a href="http://www.nagasaki-web-saito.net">http://www.nagasaki-web-saito.net</a><br/>(さいとう たかし 氏〔斎藤 隆 氏〕)</p>              | <p>他県出身で現在長崎在住の作者個人が趣味と奉仕の精神で運営するサイト。<br/>情報のとらえ方や表示の仕方が个性的であること、作者自身の目で確認された情報が掲載されていることから情報の信頼性の高さを感ずること、操作性が高いことが高く評価された。<br/>作者の視点で見た長崎の観光ガイドで個人運営の良い点が現れた事例で、感じたことをストレートに書いている点が利用者から支持されており、個人運営サイトでありながらアクセス数15万PV/月と高い利用実績を誇っている。<br/>地に足が着いた観光ガイドとして、長崎の観光振興に貢献している。<br/>総ページビュー：約150,000PV以上(一月当たり)</p>     |